

令和4年度公的研究費に関する監査結果について

I. 実施概要

1. 監査実施期間： 令和4年6月28日 ～ 令和4年8月2日
2. 監査対象期間： 令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日
3. 監査員数： 延べ73名（監査室、財務部、研究推進部、産学連携部、東京キャンパス事務部、各支援室）

4. 監査対象部局及び対象課題

監査対象部局	実施件数	内訳	
		通常監査	特別監査
人文社会エリア支援室	33	29	4
社会人大学院等支援室	14	11	3
数理工学エリア支援室	31	26	5
システム情報エリア支援室	32	27	5
生命環境エリア支援室	33	28	5
人間エリア支援室	30	25	5
体育芸術エリア支援室	31	26	5
医学医療エリア支援室	30	25	5
図書館情報エリア支援室	21	17	4
東京キャンパス事務部	12	8	4
病院総務部	32	27	5
合 計	299	249	50
(件数・金額(円))	2,191百万円	1,626百万円	565百万円

5. 監査項目

通常監査	特別監査
①直接経費の管理状況の確認 ②設備等に係る事務等の確認（寄附受入、資産登録など） ③補助金の使用に関する書類の整理・保管状況の確認 ④法人規則等に従った執行状況の確認	①購入物品の使用状況等の確認、換金性の高い物品の現物確認 ②短期雇用者等の勤務実態の確認 ③他の外部資金の執行状況、経費合算・混同等の有無 ④同一業者への集中発注の調査及び納品確認書類と納入業者の売掛伝票の突合 ⑤出張事実の確認 等 ⑥執行時期の偏り ⑦役務契約の検査確認 等

II. 監査結果概要

今年度の公的研究費監査は、昨年引き続き執行の適正性を検証するとともに、監査法人立会いのもと、換金性の高い物品の現物確認や同一業者への集中発注の調査及び納品確認書類と納入業者の売掛伝票の突合を行う等、リスクアプローチ監査を行った。全般的に重大な不適切事例は見受けられず、執行管理の水準は概ね良好と判断できる。

また、本監査において、監事が対象部局のうち 2 部局に同行し、内部監査の手法の実効性について確認をした。

以上